サポーターとしての心得

2017.3.21
Daisuke.Y

【マインド編】

吉武大輔をサポートすることが目的ではなく、一緒に仕事をすること通じて、

1）自分自身の専門性とミッションを明確にし、自立したアイデンティティを確立すること

→ 誰に、何を、何のために、どうやって提供し、どんな未来を作ろうとしているのかを常に語れるか

2）吉武大輔と周りの人たちとの密接な信頼関係を構築し、公私ともに長期的に付き合っていくこと

→ 関わる人たちの趣味趣向・強み弱みを理解し、相手の期待を超えていくことで必要とされる人であること

3）１年以内に、スタッフからパートナーの関係性へとシフトしていくこと

→ お互いにシナジーを生み出すことによって対等な関係をつくり、下請けから、成果を生み出す関係へ移行する

4）次のスタッフを育てることを前提に置いた上で、自らの教育の機会を有効活用する

→ すべての人の営みは教育に行き着くことを理解し、自らが自分を超える人材を育てる教師である自覚を持つ

→ その為に、どのような教育を受けたかを随時マニュアルにまとめていく

→ 適切な問いを設定する力を構築するために、本を大量に読み、常に新たな出会いと体験に触れ続ける

→ 上司を育てるのが、部下の最大の仕事である。

【スキル編】

吉武大輔との仕事で共有された基準は、誰からも必要とされ愛される人間である基準であり、その為に

1）直感(右脳)と論理的思考(左脳)のシナプスを強化し、ストレスフリーなフローにのった仕事を行う

→ 上質なインプットと圧倒的な速度のアウトプットにより、意識的に成長速度を向上させる

2）物事を大局的・抽象的に広く捉えながら、具体的な行動や戦略レベルに落とし込んでいく

→ トライ＆エラーを繰り返すことで、仮説と検証により、戦略眼と市場における土地勘を研ぎ澄ましていく

3）録音・文字化を習慣化し、必要な情報をいつでも取り出せる環境と仕組みをつくる

→ 何を聞いても、瞬時に答えられるの情報管理と、次に何を頼まれるかを予見し、あらかじめ準備をしておく

4）モデリングの力を活用する

→ ゼロから何かを生み出すよりも、既にある成功モデルを活用し、リデザインする力を身につけていく

→ HP やチラシなどを作成する場合は、①機能的モデリングと②デザイン的モデリングを決める
それを事前に確認してから、制作に入る

5）スピード感のある仕事を意識する。スピードは信頼につながる

→ 報連相の速度をあげていく。3-4 割できたら報告・フィードバックをもらい、圧倒的な速度で改善を加えていく